

MINI-124 自動診断システム (解釈サービス用) ver 7.0

システム開発 : 村上 宣寛  
臨床的貢献 : 村上千恵子

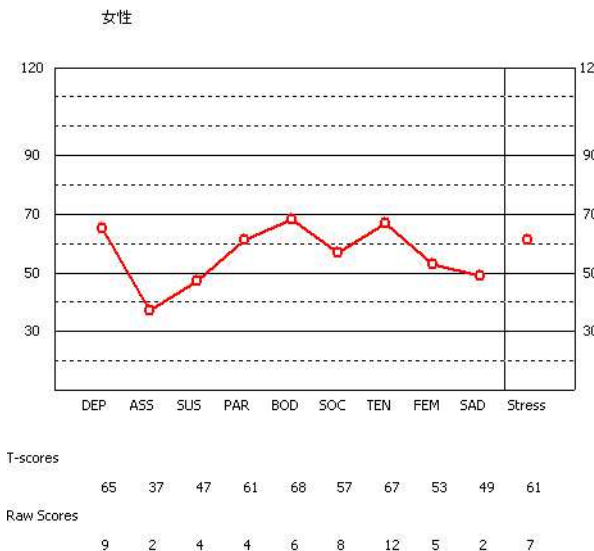
受験番号 : 身体症状症(解釈サービス用)  
氏名 : 身体症状症の事例  
性別 : FEMALE  
年齢 : 40 歳

この「MINI-124 自動診断システム」は、オリジナル版のミネソタ多面人目録から 250 項目を抽出し、妥当性尺度、臨床尺度、特殊尺度など、合計 26 尺度で構成されています。住民票の無作為抽出による有効回答者 1178 名を、青年期 (15~22 歳)、成人前期 (23~39 歳)、成人中期 (40~59 歳)、成人後期 (60 歳以上) に区分し、世代別に標準化が行われました。  
自動解釈は客観的で、経験的な法則に基づいて構成されており、あなたの性格を理解するために有用な情報が含まれています。しかし、ここで提供される情報は仮想的なもので、自動解釈が個々の人に完全に当てはまるわけではありません。自動解釈レポートは、自分の性格や生き方を振り返るための参考資料としてご利用ください。  
なお、あなたは「成人中期基準」で分析されました。

[ MINI-124 PROFILE ]



[ SUPPLEMENTAL PROFILE ]



＜＜ 受検態度 ＞＞

このテスト結果はおそらく信用できます。あなたの本当の姿は正確に測られています。そのため、自動解釈にはあなたの現在の精神状態が反映されていると思われます。良い自己像を作り上げようと努力し、社会的に順応しようとしています。質問に理性的、かつ、適切に回答しています。ストレスから自由で、適応は良好な場合が多いと思われます。自分の心を打ち明ける傾向と、秘密にしておく傾向のバランスがとれています。自由でオープンな傾向があり、社会的な制約を受け入れています。

＜＜ 主要な精神症状 ＞＞

未熟で、自己中心的で、暗示にかかりやすい傾向があります。他人に頼りたいと思う気持ちが強く、注目や愛情を一方的に要求しがちです。自分のおかれた現実を直視するのは苦手で、どんな心理的問題も認めようとしません。ストレスにさらされると身体の苦痛や病気が現れます。

軽く落ち込んで、悲観的で、悩んでいる状態です。付き合っている人や自分自身に不満があるのですが、それが落ち込んでいる理由の一つであると気づいていないかもしれません。一時的で状況的な場合と、慢性的な場合があります。

感覚、動作、身体に関する不快感が強いのですが、その内容ははっきりせず、漠然としたものが多いようです。頭痛や背中の痛み、吐き気などの身体症状が見られ、日常の仕事がうまくできない場合があります。はっきりした身体の病気でない場合は、情緒的な問題が原因で症状が現れていると思われる。

＜＜ 対人関係の特徴 ＞＞

交際好きで、しゃべりで、人目をひくような役をしたがり、他人と簡単に素早く仲良くなれます。パーティなど、楽しいことが好きで、初めて皆の前でしゃべる場合でも落ち着いています。社会的技能や能力に恵まれています。

かなり独立心が強く、精力的です。粗雑で不適切な感情や衝動が行動に現れることはありませんが、社会的な制約や期待がわずらわしく、問題を起こしたことがあるかもしれません。社会的な争いや親子・友人関係のもつれなどがあると思われる。

伝統的に女性的とされる役割や、男性的とされる活動に対する興味は平均的です。

＜＜ 全体的印象 ＞＞

他人との親密さを強調しすぎで、かなり保守的傾向が強いようです。他人に受け入れられたい好かれたりするために、自分を犠牲にしても一生懸命に努力します。大きな失敗があってもすべてうまく行くという楽観論の持ち主です。怒る必要があったり、一人で決定したり、責任を持たされる状況は極端に苦手です。未成熟、自己中心的な傾向が目立ちます。ストレスが加わると身体や心の変調が現れやすいようです。

かなりのストレス症状が現れています。不安や緊張が強く、抑制的です。また、悲観的で、落ち込んでいて、自分の能力に自信がありません。注意を集中できず、大事な仕事や物事がうまくいかないと思い込んでいます。対人関係も良くないことが多いようです。受動的で、依存心が強い傾向があります。頭痛や筋肉のけいれんなど身体症状がみられることがあります。責任から逃れようとし、一般的な適応状態はやや悪い方です。

＜＜ 問題対処法 ＞＞

理解しにくいかもしれませんが、身体症状は情緒的な葛藤や心理的問題からの逃避と関係があります。自分のおかれた現実を直視するのは苦手で、それを他人に指摘されると、自分を理解してくれないと不平を述べてしまいます。身体症状が現れると、簡単な医学的治療を捜し求める傾向があります。ストレスに原因があることが多いので、無理な仕事、日常生活、人間関係などを見直すよいでしょう。ストレス症状が強く、自分で問題に対処できない場合は、医師にストレス免疫訓練などを施してもらうよいでしょう。

自分の行動の原因に心理的な問題があることを理解しようとせず、問題を単純、かつ、具体的方法で解決したいと考える傾向が目立ちます。問題に対処する場合、以上の点に注意してください。

[ 妥当性尺度 ]	素点	標準得点		
?	4	180	不応答が多い傾向	非常に顕著
L	2	42	よく見せようとする構え	普通
F	4	59	普通の人とは回答しない内容	普通
K	4	51	防衛的態度	普通

[ 臨床尺度 ]	素点	標準得点		
Hs	5	67	心気症傾向	あり
D	9	69	抑うつ傾向	あり
Hy	16	76	未熟、自己暗示的傾向	顕著
Pd	8	61	無責任、利己的傾向	あり
Mf	12	43	男性的傾向	普通
Pa	5	54	妄想傾向	普通
Pt	3	64	不安、心労	あり
Sc	3	66	疎外感、混乱状態	あり
Ma	2	47	活動過多	普通
Si	5	52	社会的内向	普通

[ 内容尺度 ]	素点	標準得点		
DEP	9	65	抑うつ傾向	あり
ASS	2	37	交際ぎらい	なし
SUS	4	47	猜疑心	普通
PAR	4	61	妄想傾向	あり
BOD	6	68	身体症状	あり
SOC	8	57	社会的内向	普通
TEN	12	67	緊張状態	あり
FEM	5	53	女性的興味	普通
SAD	2	49	病的興奮状態	普通

[ 特殊尺度 ]	素点	標準得点		
Stress	7	61	ストレス症状	あり

＜＜ End of Report ＞＞